

新刊のご案内

12月15日新刊ライン搬入（初回指定メ切：12月4日、メ切後返品条件付き注文）

人文書院

〒612-8447 京都市伏見区竹田西内畑町9
TEL 075-603-1344 FAX075-603-1814
https://www.jimbunshoin.co.jp/

「核の力が支配する世界が現実だ」と達観していいのだろうか

広島・長崎の経験から核廃絶への
具体的な道筋を多角的に探る。

【広島市立大学国際学部叢書 15】

原爆 80 年

—被爆と核をめぐる過去・現在・未来—

金栄鎬／井上 泰浩 編

四六判並製 360 頁 ISBN:978-4-409-52098-7

本体価格 3800 円 (定価 4180 円)

歴史学、社会学、メディア論、国際関係論など多彩な視点から「被爆と核」の過去・現在・未来を徹底検証し、被爆地の内側から、そして外側からの視線によって、これまで自明とされてきた記憶を問い直す。諦観を打ち破り、未来への声を上げるための書。

編者 金栄鎬 (きむ・よんほ)

広島市立大学国際学部教授。主な著書は『日韓関係と韓国の対日行動』（彩流社、2008年）、『世界の眺めかた』（編著、千倉書房、2014年）。『地域研究の境界』（共編著、人文書院、2024年）。など。

編者 井上 泰浩 (いのうえ・やすひろ)

広島市立大学国際学部教授。情報通信学会評議員。全国紙記者などを経て現職。主な著書は『アメリカの原爆神話と情報操作「広島」を歪めたNYタイムズ記者とハーヴァード学長』（朝日新聞出版、2018年）。編著書に『世界は広島をどう理解しているか——原爆七五年の五五か国・地域の報道』（中央公論新社、2021年）など。

◎目次

第一部 被爆地の状況から

- 第一章 森瀧市郎の軌跡が問いかけているもの 嘉指信雄
第二章 “Hiroshima” における「復興」の語り 古澤嘉朗
第三章 被爆の国際的アピールの歩みと行く末 長史隆
第四章 国際平和文化都市の未来 湯浅正恵
コラム 田中聰司(日本被団協代表理事)

第二部 被爆地への視線

- 第五章 原爆神話を世論形成したニューヨークタイムズ 井上泰浩
第六章 なぜ原爆投下を記憶し継承するのか 高橋優子
第七章 『はだしのゲン』は韓国でどう読まれたか 金栄鎬
第八章 原爆攻撃機エノラ・ゲイの航路と攻撃開始地点、八〇年後の修正 井上泰浩
コラム 谷史郎(広島平和文化センター副理事長)

第三部 核廃絶に向けて

- 第九章 人類は戦争を廃絶できるか 太田育子
第一〇章 核保有国を含めた核軍縮・廃絶プロセスに向けて 秦野貴光
コラム 水川恭輔(中国新聞社編集委員)

| | | | | | | | |
|-------|-----|-----------|---|-----------|----|----------|-----|
| 新刊注文書 | 番線印 | 販売条件／新刊委託 | 版元 | 人文書院 | 編者 | 金栄鎬／井上泰浩 | 担当者 |
| | | | 書名 | 原爆 80 年 | | | |
| | | | 冊 | 本体 3800 円 | | | |
| | | | ISBN978-4-409-52098-7 ※フリー入帖いたします(了解者:佐藤) | | | | |